

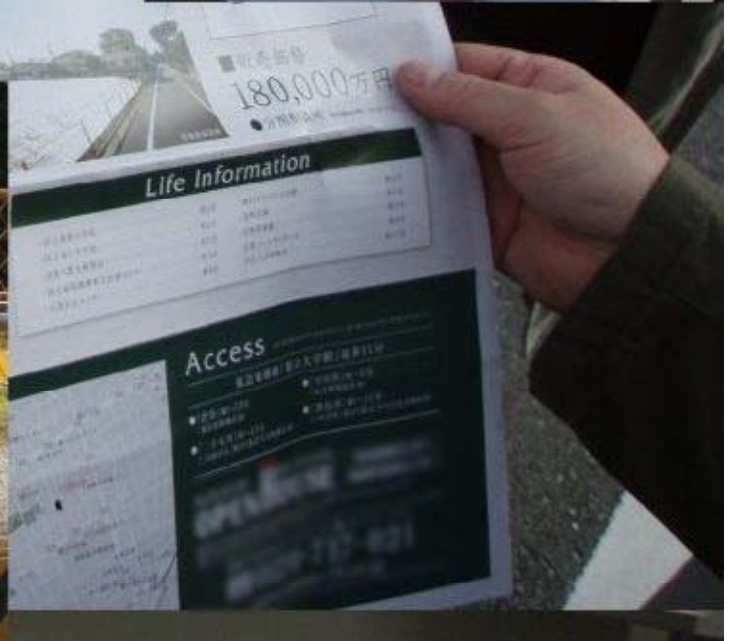
あんしん宅地 10回準備会



新南リリース (1.1.15.太田)



宅地。



近く
中央
も
だ



最住宅街だ。家は満ちた
2階建て。山の上のほうで
は、新しい宅地の造成工事
が行われているという。紀
香の実家から30mも離れて
いないところに住む主婦た
ちが、口々に不安を訴える。
「木が切り倒されて山肌が
割られ、土が盛られました。
でも9月の末から造成工事
はそれっきり中断。ハゲ山
の状態で放置されているん
です。家の前の道にこぶし
大の石が転がり落ちてくる

活断層調査のトレンチ



りしたら、土砂
るんじゃないか
心配で夜も眠れ

造成工事の場所から、紀
香の実家までは300mも
離れていない。実際に工事
の現場に行ってみて、記者
は息を呑んだ。
山肌は丸裸で、赤茶けた
急な斜面が住宅街に迫って
いる。山裾から急な斜面を
見ると、むしろ崖と呼んだ
ほうがよさそうだ。
地すべりの専門家・京都
大学防災研究所の釜井俊孝
教授は、図面や写真を見て
こう語る。
「山肌が裸の状態ですか
ら、大雨で水を含んだ土が
自らの重みで崩れ、地すべ
りや土石流といった土砂災
害を引き起こす可能性はあ
る。山の下の方にある住
宅は大変危険です」
さらに、地元の不動産業

今年7月にオリコン
のベストカップル1位
に選ばれたばかり
の藤原紀香（36
歳）。格闘技のメ
インキャスターや
世界柔道のスペシャ
ルサポーターもブ
ラン
ばいと

「心配で眠れない」と
住民は不安の
日々を……
取材・文真弓 準
ライター

藤原紀香
氏
「西宮の実家」が
「地すべり」の危機

あんしん宅地事務所



（56歳）
「施工



周辺は住宅展示場